

# 鶴田電機株式会社 環境報告書（2025年度）



## 〈はじめに〉

鶴田電機株式会社では、2011年に発生した東日本大震災に伴う福島県第一原子力発電所の事故により、CO<sub>2</sub>削減や太陽光エネルギー（再生可能エネルギー）の利用推進の重要性を再認識しました。しかし、国内の原子力発電所の稼働が停止したことや、それによって火力発電所の利用が増えたこともあり、CO<sub>2</sub>の排出量は増加し、2016年には一人当たりのCO<sub>2</sub>排出量が、OECD（経済協力開発機構）の35か国中27番目となりました。このことから、日本のCO<sub>2</sub>排出量は、世界全体で見ても比較的多い方であり、SDGsの達成のためにも、今後はCO<sub>2</sub>排出量を削減していかなければならないことが分かります。

そこで弊社では、太陽光発電用トランスの開発・提供によって、再生可能エネルギーの普及の後押しをし、持続可能な社会の実現に貢献することを目標としてきました。また、社内においても、2019年度から太陽光発電システムを導入し、自家消費を行うことで電気の使用量の削減や、効率の良い電気の利用を実施しています。

また、災害等の緊急時においても、電力の確保を可能なものとするため、弊社では、蓄電池を導入しております。蓄電池と太陽光自家発電設備の併用によって、停電時の電力を賄うことが可能となり、CO<sub>2</sub>排出量の削減だけでなく、緊急時の避難所としても活用できるようになります。

日本では、2050年までにCO<sub>2</sub>排出量を実質ゼロにすることが、当面の目標とされていますが、弊社では、「2030年までにCO<sub>2</sub>排出量を0にする」という目標実現のために、今後も省エネや再生可能エネルギーの利用・推進を継続し、低炭素でクリーンな「持続可能な社会」実現のための活動に取り組んで参ります。



鶴田電機株式会社

## 1. 太陽光発電用トランスの出荷状況推移

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	計
出荷台数(台)	573	958	1,496	2,019	3,544	5,427	4,013	4,399	22,429

太陽光発電用トランスは、2018年の出荷開始以来、2025年度までの累計出荷台数が22,429台となっております。太陽光発電用トランスの販売を通じて、引き続き再生可能エネルギーの推進に貢献してまいります。

## 2. 電気使用量の削減／効率化

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2018年比較
電気使用量(kWh)	358,946	250,800	250,561	260,075	286,948	329,724	302,822	359,764	0.002%増加
電気使用効率(Ecut)	379.7	652.5	704.8	947.8	1138.1	953.1	771.4	593.3	213Ecut up

2025年度においては、電気使用量は359,764kWhとなり、2018年とほぼ同水準で推移しております。一方、電気使用効率（Ecut）は593.3となり、2018年比で56.3%向上しております。引き続き、電気の効率的な使用を継続してまいります。

## 3. CO2の排出量

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2018年比較
電気(t)	197.5	125.9	110.2	112.2	131.1	150.7	166.7	195.8	0.8%減少
ガソリン(t)	25.9	20.4	18.8	20.8	18.9	19.1	16.0	18.8	27.4%減少
軽油(t)	21.8	18.8	22.9	26.0	28.2	45.1	42.6	38.4	75.9%増加
灯油(t)	14.7	10.2	5.2	5.6	6.7	8.9	0.0	0.0	100%減少
LPG(t)	0.9	0.6	0.5	0.5	0.5	0.9	0.8	0.8	13.2%減少
計(t)	260.8	175.9	157.7	165.1	185.4	224.7	226.1	253.7	2.7%削減

2025年度においては、CO2排出量は253.7tとなり、2018年度比2.7%の削減となりました。引き続きCO2削減に向けた取組を継続してまいります。



鶴田電機株式会社